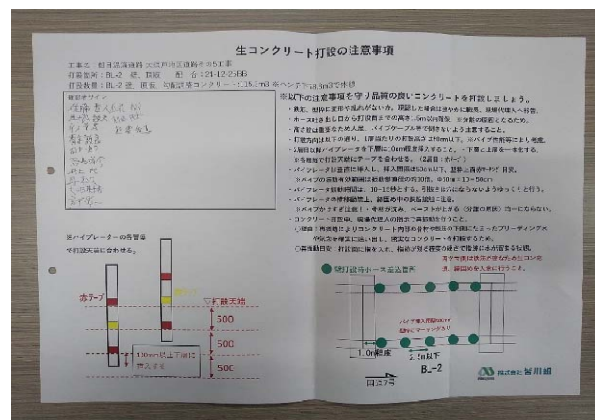


1	表題 (課題) 名	生コンクリート打設時の正しい施工と施工管理の徹底	
2	工事 (業務) 名	朝日温海道路 大須戸地区道路その5工事	
3	受注者名	株式会社 皆川組	
4	工 期	令和 4 年 3 月 2 4 日 ~ 令和 5 年 3 月 3 日	
5	担当技術者 (立場) 名	現場代理人	(あら ひでゆき) 荒 英行
6	担当主任監督 (調査) 員	村上出張所長	
7	課題区分名	⑤施工管理 (_____)	
8	工事 (業務) 概要	村上市檜原地区において日本海沿岸東北自動車道 (日沿道) の場所打ち函渠工を施工した。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
・本工事における場所打ち函渠を施工するにあたり、コンクリート構造物の品質確保について考えた時に、品質の良い生コンクリートの使用、ひび割れ抑制対策等があげられるが、今回は実際の現場施工 (生コン打設) 時に正しい施工と施工管理の徹底を行った。			
10	【実 施 内 容】		
・実施内容としては、施工の基本事項の遵守するために、先進的にコンクリート構造物の品質確保に取り組んでいる山口県の「コンクリート構造物品質確保ガイドライン」を参考に施工管理を行った。 その中でも様式「施工状況把握チェックシート」を活用し、生コン打設の基本事項を「見える化」することで施工に対する意識向上とコンクリート構造物の品質確保を図った。			
11	【実 施 結 果】		
・今回、正しい施工と施工管理の徹底を行ったことで、ひび割れや豆板等もなく品質の良いコンクリート構造物を施工できたと思う。 結局、圧縮強度やひび割れの有無、コンクリート表層の仕上がりで評価されるが、少なくとも施工に携わった作業員の施工に対する意識が向上したと思います。			

【実 施 内 容 等】

○打設注意事項に配布
・注意事項とその理由を明記することで作業員の意識向上を図った。

[illegible][illegible]

(様式—2)

【実施内容等】

○基本事項の「見える化」

・パイプレーター挿入深さ明示(各層毎)



・パイプレーター挿入間隔明示(@500mm)



・打設ホース挿入深さ明示



・打設ホース挿入間隔明示(@2500mm)



(様式—2)

【実施内容等】

・打設状況



・職員による打設リフト管理@500mm



○鉄筋へのパイブレータの
不要な接触を防ぐため、パイ
ブレータのスイッチを持つ
要員を配置し、パイブレータ
ー上げ下げの際、スイッチ
を切ることで鉄筋へのパイ
ブレータの接触を最小限に
抑える。

・ブリーディング水の除去

